

歯学部附属歯科衛生専門学校
令和4年度自己点検・評価及び学校関係者評価票

令和4年度 自己点検・評価項目	自己点検・評価結果 (現状説明, 長所・特色, 問題点, 全体のまとめ)	取組 評価	学校関係者評価				
			自己点検・評価結果 への意見等	優れている点, 継続 してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組 評価
<p>評価項目①</p> <p>【重点目標】 学生の受入れが適切かつ適正に管理され, 定期的に点検・評価を行っているか。</p>	<p>① 現状説明 前年度の志願者数の推移に鑑み, 選抜日程を調整している。令和4年度の新入生募集停止による, 志願者数減少の懸念があるため, 付属高等学校や在学生出身高等学校への学校案内等の発送, 個別学校見学の対応, 学校訪問説明等を行った。</p> <p>② 長所・特色 入学希望者への受験の機会を増やし, また, 受験生の個性を重視した入試の機会を増やすため, 総合型選抜の実施回数を増やした。</p> <p>③ 問題点 近年は入学定員充足率が100%に満たないため, 入学者数の確保が必須である。</p> <p>④ 全体のまとめ 多様な選抜方式を用いることに加え, 進学相談会や高校訪問を通して入学希望者へのアプローチを図っている。</p>	B	<p>・外部で進路説明会を積極的に行っていることは評価に値する。</p> <p>・学生の出身校, 付属校など約90校へ案内を送付し, 教員が少なく多忙であるが学校を訪問し丁寧に説明会を行うなど, 様々な方法で情報社会に対応した学生募集を積極的に努めていることが評価できる。</p> <p>・総合型選抜の実施回数を増やすなど多くの学生に入学してもらえよう工夫されているが, なかなか, 入学者数が確保できないことは, 残念である。</p>	<p>・学生受入れの施設や, ハードウェア, 立地は申し分ない。</p> <p>・受験回数を増やし, 多様な選抜方式を取り入れ工夫されている。</p> <p>・高校を訪問して丁寧な説明会を行っている。</p> <p>・1年間の募集停止を考慮し, 学校案内等の学生募集活動に力を入れている。</p> <p>・入学希望者数を増やすために, 学校案内が好感を持てるよう, 分かりやすい内容に改善されている。</p>	<p>・中途退学の理由はどのようなことにあるか, 詳しく分析していただきたい。</p> <p>・定員割れが続いている原因の一つとして, 校舎の老朽化や短大, 大学でないことが考えられそうである。意識の高い入学希望者に多く入学してもらうには, 大学附属でない専門学校との大きな違いを広報することが望ましいと思われる。</p> <p>・大学附属の良い点を生かし, 歯学部生との積極的な交流について学校案内を通じて広報してはどうか。</p>	<p>・新キャンパスになり, 以前よりきれいで設備が充実し, 図書館や実習室も学習しやすい環境が整っている。</p> <p>・入学希望者が増加することが期待できそうである。</p>	B
<p>評価項目②</p> <p>教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また, その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p>	<p>① 現状説明 円滑な学校運営を図るために専門学校運営委員会が設置されており, 教員組織の適切性について多角的に点検・評価が行われている。教員の年齢構成は, 50～59歳1名, 40～49歳2名, 20～29歳1名と年齢構成に偏りがあり平均年齢は43.3歳である。</p> <p>② 長所・特色 教員組織を構成するのは専任教員に加え, 実務経験豊富な歯学部教員と非常勤講師であり, 多数の授業科目を担当している。</p> <p>③ 問題点 全教員がクラス担任や実習担当者を務めており, 補助者がいない状況である。今</p>	B	<p>・教室の様子や, 休憩中の学生が自習している場面が見学できた。その様子からシラバスにのっとって進められているようである。よいかと評価する。</p> <p>・教員の年齢構成のバランスについては, まずは人材重視と考えるので, 現状に問題はなさそうだが, 3学年揃う頃には, 人員を補充できているとよいと思うので, その時に年齢構成を考えた補充を考えていただき</p>	<p>・優秀な先生方が揃っていることは素晴らしい。なお一層学生に専門家になっていくのだという意識を持たせるようによろしくお願したい。</p> <p>・実務経験豊富な講師陣が, 学生目線の意見を聴き対応しており, 学生の知識や経験のために, 非常に有効である。</p> <p>・多忙な中, 外部の研修にも数多く参加し, 積極的に取り組まれている。</p>	<p>・教員の人数が厳しそう。学生へ満足のいく対応のためには, 増員が望ましいと考えられる。</p> <p>・また, 若い人材を採用し, 育成することが急務と思われる。</p>	特になし。	A

	<p>後は多様化する学生への対応や教員の急病などの事態に備える必要がある。また、現状の年齢構成から、次世代を担う人材の育成を視野に入れた採用計画が必要であるとする。</p> <p>④ 全体のまとめ 教員組織は現状では、専修学校設置基準及び学則に基づき、適切に編成・運用されている。</p>	<p>たい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務経験豊富な講師による授業は、学生の知識や経験のために、非常に有効である。専任教員、歯学部教員、非常勤講師等、授業を行う教員は、専門的知識、経験豊富な人材が充実しており、学生へのアンケートを定期的に行い、学生目線での改善努力も伺える。 ・教員は講習会や協議会に定期的に参加しており、情報共有や指導力向上に努めている。 	<p>また、可能な限り他の授業にも参加し、状況の把握と学生の受講態度等のチェックに努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に対するアンケートを実施し、結果に基づき授業内容を改善している。教員間で密に意見を交換し学生に適切な指導を行っている。 			
<p>評価項目③ 学生生活の充実を図るために、学生の心身の健康等における支援対策は講じられているか。</p>	<p>① 現状説明 クラス担任制を実施し、定期的な学生面談を行って、相談の機会を設けている。また、保健室、学生支援室等を利用して、学生を継続して支援できる体制を整えている。様々な問題を抱えている学生と個人面談を幾度も行い、状況を把握している。保護者とも密に連絡を取り、休学や退学につながらないよう支援している。また、学生指導については、校長、教務主任、教員が情報を共有し、指導への適切性の検証を行っている。学生の問題内容によっては、クラス担任の他に校長や教務主任が面談を行い、退学等の防止対策に努めている。</p> <p>② 長所・特色 3年間を通じ同じ教員によるクラス担任制を実施し、校長及び教務主任によるサポートの下、きめ細やかな指導を行っている。</p> <p>③ 問題点 休学並びに退学に至る理由は年々、多様化かつ複雑化しており、クラス担任の負担が大きくなっている。</p> <p>④ 全体のまとめ 心身の健康を保つため、定期的な面談により相談の機会を提供し、教職員間で</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間同じ担任であることで学生個々の把握が十分にでき、変化に気づきやすい。また、教務主任、校長によるサポートもあり、様々な場面に対応が可能である。学生について都度協議し、きめ細かな指導を行っている。 ・成績が振るわない学生には、テストと解説の機会を設け、学力アップのために工夫がなされている。10月より国試対策に取り組み、プレッシャーなどの心身面でも面談を行いフォローしている。就活も平行し求人情報の活用や、専任教員によるアドバイスにより、不安になっている学生に寄り添い全力でサポートされている。今年度は退学者が出ていないという成果につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が学生の心身についてもサポートがしっかりなされている。学生同士がコミュニケーションを取りやすい工夫がなされ、モチベーションを上げる工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より学生の年齢に近い若い人材を採用し、学生に寄り添う指導が必要と思われる。 ・年々クラス担任の負担が大きくなっており、心身ともに健康でいられるよう、教員のメンタルサポートにも力を入れていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的にも心身についての問題が増加し続けている。同じ状況でも影響の程度に個人差があることが伺える。原因は学校に関連することだけなのか、多方面からの問題を考えサポートできれば理想的だが、非常に難しいことではありそう。 	<p>A</p>

(様式2)

	情報を共有して、個別の対応を行っている。必要に応じて保護者や学校医と連携をとり、組織全体で学生支援に取り組んでいる。		・入学前教育プログラムを導入したことにより、学生の意識が変わり、退学・休学者が減少したことは大いに評価できる。				
--	--	--	---	--	--	--	--